（1）（除月曜）日刊 昭和21年6月1日 第三種郵便物認可 昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第233号 いわき民報 夕刊 昭和28年8月15日（土曜日） 第2223号

夕刊
いわき民報
発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

盛大に平安橋開通

常磐線の最大を誇る平駅跨線人道橋の竣工並びに渡初式は十四日午前十時半から現場で挙行した、関内、高木、松井の三代議士始め来賓百余名出席、諸橋市長の式辞、五十嵐保線区長の工事報告についで市当局、国鉄水戸管理局から跨線橋建設功労者として平保線区、東鉄工業KKが表彰され来賓の祝辞についで祝詞奉上、玉串奉てんの式を終り、跨線橋ヘ口に張つた紅白の綱に諸橋市長がハサミを入れ、北白土の市議塩のぶあき氏三夫婦を先頭に諸橋市長、来賓の順で百三十五米のコースをシズくと渡り、裏口に張つた紅白の綱を三夫婦の代表が切り落しこゝに無事、挙式を終つた

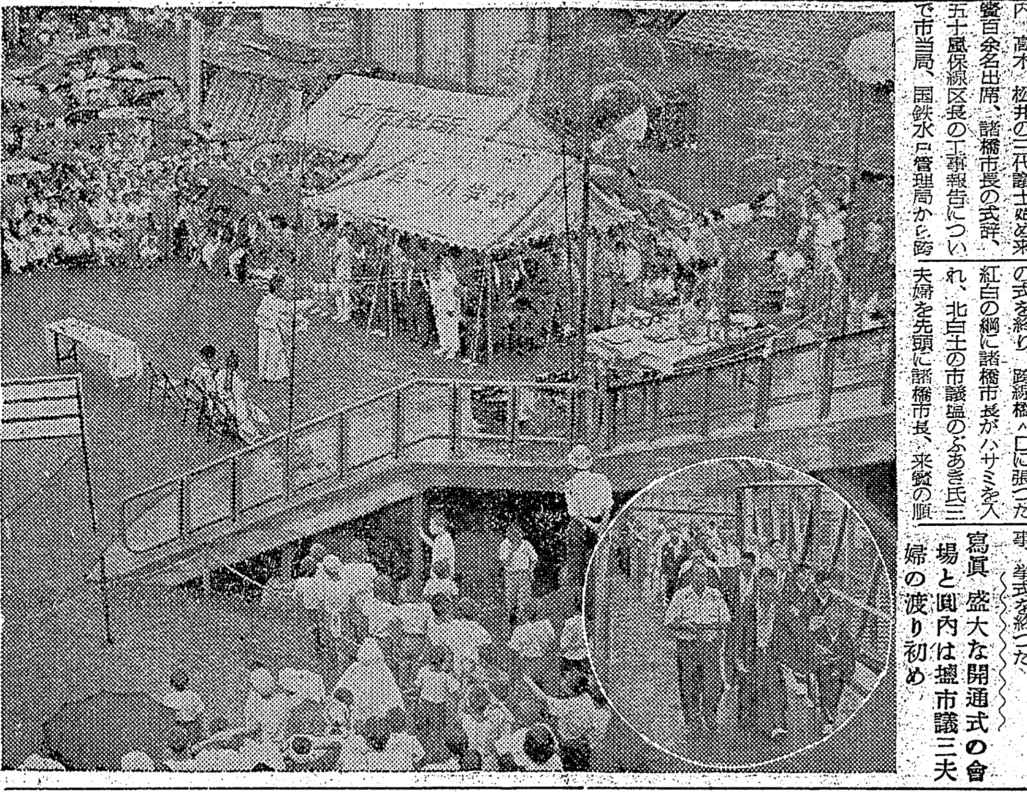


写真 盛大な開通式の会場と圓内は塩市議三夫婦の渡り初め

祝モチ待つ子

飛び立つ平安の鳩

▼―この挙式を見んものと早くから市民がつめかけ、子供たちは祝モチを拾おうと押すなくの盛況ぶり、物見が岡の裏口にもズラリとならんだ人々が傘をさして集まつていた

▼―開式からシトくと雨がふり、諸橋市長始め来賓たちは頭からシズクをたらして祝辞をよみあげている始末、気の毒に思つたある婦人が途中カサをさしてやつた場面もあつたが、神主さん（二名）などはカミシモ姿もビシヨくになる始末

▼―関内代議士の祝辞に『―前鈴木市長がこの落成式をみずして去つたを尋非常に残念に思つています』とやれば高木代議士もつゞいて『―前市長の功労もさることながらそれにも増して諸橋市長らの努力は大いに賞讃せねばならない』とお互に賞讃ゼメ

▼七十六になるという子鍬倉神社の神主さんが神典を飾つてある階段をのぼるのにヨチくーハタでみている来賓もハラく ところが三夫婦の長、塩千治さん（七七）の妻コウさん（七五）はごしも曲がり杖姿なのに至極達者、これをみたこの神主さん〃アジヤパー〃といつた顔付きで長いヒゲをなで廻していた

▼―新聞社始め素人、玄人のカメラマンがパチくやつている中に市議鈴木新平さん盛んにパチリく、同僚連中『おや、珍らしい、手がふるえているからさして上手ではなかろう』

▼―諸橋市長のハサミ入れでクス玉の中のハトがパツクリと口をあけたが中々飛び出さない、ゆすぶつてやつと飛んだがハトも雨にはヘイコウしたらしい

▼―松井代議士も式途中から出席したが大半の来賓者スワる場席がなく雨にふられてフーく[illegible]汗をたらしていた

街頭遊説會

あす平驛前

明大法学会雄弁部主催石城地区高校雄弁大会は明十五日午前十時から平市大工町労働会館で開く、参加校十一校、終つて日大学生の模範雄弁もある、また同夜七時半から十時まで平駅前で街頭遊説会を開く

學生寮建設委員會

石城学生寮建設準備委員会は十九日午前十時から教委石城出張所で開き規約制定と今後の建設運動について打合せる

割烹 さるた 平市桜小路 電四三六

小名に日本化成の新工場

敷地六万坪 運動に凱歌

県並びに小名浜町では化学繊維界の王座を占める旭化成工業KK（社長片岡武修氏）…本社大阪市北区宗是町一、資本金二十四億五千万円＝の工場誘致を交渉中だつたがこのほど六万坪の電気製塩及びマグネシウム工場の建設に着手することにほゞ決定した

これに先き立ち十日小名浜町から水野町長、長瀬議長、小野工場誘致委員長及び県から係官が上京、同社と具体的に折衝を進め十三日夜帰省した、一行はまだ工場敷地などの関係から発表する時期でないと公表を避けているが日本専売公社小名浜工場がすばらしい業績をあげているのに着眼、電気製塩事業を行うと同時に副産物として塩の約一割とれるニガリを利用マグネシウムの製造を行う予定で第一年度には工場敷地二万坪、従業員四、五百名を使用する方針で早ければ年内に着工することになつているもよう

このため小名浜町では近く町会を開き同工場の誘致に全面的に協力今度設けた工場誘致条令を適用して優遇することになつている、なおマグネシウムはニガリ主成分である塩化マグネシウムを熱分解し金属マグネシウムと水酸マグネシウムを製造することが簡便で現在日本専売公社小名浜工場ではこのニガリをすてているので旭化成ではこのニガリも利用する方針である

思うまゝ

飾りすぎる七夕

鬼怒川徳也

東北の七夕祭りは仙台か平かといわれるほど有名になつているようだが、十五日から三日間盛大に催されるこの七夕祭りに就いて一言審査員たちに提唱したいことがある。

七夕とは御存知の如く織女星と牽牛星とが結婚して天職のハタ織をやめたのを天帝が怒つて年に一度だけしか会う瀬を許さなかつた、丁度七夕の日がその逢びきの日になつているという伝説から仙台あたりでは、この七夕祭になると親が娘を美しく着飾らせ、友人の家を訪問縁結びにする風習が残つている、田舎あたりでは特にこの傾向が強く、七夕の飾りなども色紙タンザクに和歌とか家族名をかいて素朴ながらも飾り竹を眺め一家揃つて語りあう姿は、都会のけばくじさと違つて奥ゆかしい自然美を感じさせる。

・ところが都会の七夕祭りは時代感覚と売らんかなの商魂とで豪華な飾付けに大金をかけ、あれもやりたい、これもしたいで装飾術に没頭しているようだ。これも結構だが仙台あたりでは単に時代感覚を生かしたり飾りにだけ目をうばわれて審査をするのではなく、おき忘れたような青竹の飾りに賞をおくりたつた二個のクス玉やタンザクなどの素朴な飾りに一等賞を与えている。東京のチヤーチル会員が来てこの素朴な美しさを写生してゆくのも大金をかけてつくつた美しさより日本画的優雅な単純美を追究する精神からでもあろうが、純すいな古典美を生かすため『竹の部』の審査もするようにしてはどうか、そうすれば一般家庭でも希望によつてはその美をきそうこともでき、商店街の七夕祭でなく平市の七夕祭として楽しめることができるだろう（平市、齋藥局主人）

レントゲン新設

湯本診療所で診療開始

湯本町では町民の要望に応え百五十万円で島津製桂号五百㍉A型レントゲンを購入十三日診療所に装置を完了し診断を開始した

湯本スクエア

湯本町スクエア・ダンス・クラブでは二十二、二十三の両日午後六時半から公民館ホールに講習会を開く

高校長協議會

浜通り県立高校長協議会は二十一二の両日平工高にひらき学区制問題、二十七年度入学反省と今後の方針について協議する

人事消息

◇伊藤甫氏（小名浜港工事々務所長）は港湾修築事務打合せのため十三日横浜市第二港湾建設局に出張、十六日帰町の予定

内郷教育委員會

内郷町第七回教育委員会は十三日開き二十八年度追加予算百七十万円（既定一二三二万円）について審議したがまとまらず町議会にかけることになつた なお 十八年度教科用図書採択の件は原案通りきまつた

夏祭の野球

平夏祭り野球試合は正式に次の通りきまつた、十六日正午から常磐内郷チーム対古河好間チーム（軟式）午後二時から常磐チーム対川崎コロンビア（硬式）球場は平工高グランド

第五次中共引揚者

石城郡関係の第五次中共引揚げ者は十四、五日の両日平着午後五時十八分でそれぞれの故郷へ帰宅する、引揚げ者は次のとおり

▼十四日安藤参王（内郷町）同恵奈美、同美恵子、同美智子、藤原義正（好間村）平子敏（入遠野村）▼十五日小野惣三（小名浜町）吉田公子（大野村）

天気予報

十四日

【今晩】南西の風曇時々俄か雨

【明日】南風日中晴間がみえるが大体曇、時々俄か雨、海上今明日とも南よりの風時々やゝ強まり風波がやゝ高い

岡ヵ見物

▼本社主催の七夕俳句会は十六日に行われるが既に投句百数十家にのぼり当日の盛況がうかがわれる▼五七五、五七五七七と限定された特殊の文学形態をもつ俳句や短歌は尺八やソロバンなどとともに欧米人には奇異の感を抱かせるものだろうが日本人にとつては長い伝統で血肉の一部となり庶民の生活感情を自然に表現する上にこの形式はいささかの無理も伴わないのだ▼しかし芭蕉や西行の時代と原子バクダンのある現代とでは、その生活様式、生活感情のうえに大きな距離をへだてている▼写生といい、実相観入というも『現代人間』の解剖をヌキにしては論じられない▼虚子がかつて『あらいやよ蒲団に首を埋めちやいや』という句をとつて問題になつたことがある『桐一葉日あたりながら落ちにけり』の作者がこの句に目をとめた不思議さが話題となつたのだろうが、虚子自身はこれになんのムジユンもなかつたのであろう、問題にした人間の古さがむしろ問題である

生徒募集
公認 三浦高等洋裁學院
本科 五十名
研究科 若干名
夜間部 若干名
裁断科（入学願書受付中）
日本高等洋裁学院連鎖校
古い歴史と堅実なる教授法
九月五日 入学式（通学定期の便あり）
平市南町六五（電九〇七）

洋髪
ハリウッド美容
夏のお髪のお手入れはいかがでしょうか

平安橋（跨線橋）開通記念福引大売出し
1等から3等まで空くじなし
景品山の如し
お買上200圓ごとに抽せん券1枚進呈
（100圓ごとに補助券進呈）
抽せん所……石川亭隣
8月12⇨23日
平市 銀座街商店会

◎喜多流 謡曲 仕舞 お稽古
◎幸流 小鼓 稽古
毎週月 水 金
平市田町六九電一二七
白土稽古舞台

暑中お伺い申上げます
いよいよ御中元の季節となりました
贈つてもいたゞいても
大評判の品質最高を誇る
八景 桃の井
どうぞ御利用下さいませ
発売以来皆様より好評をいたゞいております
厚く御礼を申上げます
製造発売元
金澤屋
平市一丁目電三二七番

平けいりん
11時発走
8月 16 17 22 23
場外 郡山市 福島市 平市 若松市

高校生の長髪とパーマ

大学一年　平市城山　**濱崎明治**

去る六月廿八日附掲載の赤石氏の高校生の断髪に関する投書に対し浜崎明治氏（大学生）から次のような反ばくの投書がありました、これはいまの若い人たちの考え方の一端を知るうえに意義ある一文と思いますので全文をこゝに掲載します（係）

学生も社会人も、同じく人生の目的たる幸福の何たるかを発見し獲得するために学問し、幸福を得るために如何に生くべきかを研究するのだ。ただ社会人の大部分が学問とは、学生だけのものであると思い、人生観すら持たずにいい加減に生きているから、学生を特殊視するようになるのだ。問題は学生を、特殊視するのがいけないかぎり、社会人よ、貴方たちも生きている人生学校の学生なのだ。

六月二十八日附本紙に平市の心ある赤石氏の『断髪に賛成』を私は次のスクラップ・ブックから発見した。氏の説は統一された説でなく、自家撞着に陥つている。即ち前においては『断髪は上品な風格、純真な心情、簡素な生活である』と主張され、後においては『自分の力で自分の始末をできるようになつたとき、好きなことをすると良い』即ち『長髪にしても良い』と主張されているのであります。然し私は子供にとつて良いことは大人にとつても良いことであり大人にとつて悪いことは、大人子供にとつて悪いことであり子供にとつても当然悪いことだと思います。子供にとつて悪いことが、大人にとつて良いということはあり得ません。ですから氏の申されるように、もし、断髪が上品なら風格、純真な心情、簡素な生活であると申されるならば、大人になつても、断髪でいるべきです。そうでなければ一つ考えられるように、大人は長髪にしても良いなら、子供だつて長髪にして良いはずであります。こゝに赤石氏の自家撞着に陥つている点が指摘されるわけであります。

また氏は個人の自由を束縛する専制的思想をお持ちの人間であるらしい。教育基本法の重点たる『個性を重んずる教育』において、またすべての国民は個人として尊重され、思想の自由を憲法において保障されている現在において断髪、パーマをかける、かけないなどという個人の思想の自由にまかさねばならぬことに第三者が干渉するということは全く自由の侵害であるといわねばなりません。学校当局が学生に対して断髪令やパーマ禁止令を出したりすることは全く、個人の意志を無視したものであり、非民主的であり、非教育的、非道徳的であります。人間は自分の子に対しては、教育する義務がある。故に断髪主義者は自分の子にだけ断髪にさせれば良いと思うのです。

次に、果して長髪が是か非かという問題であるが、私は断髪に善悪の理由のないようにやはり長髪にも善悪の理由はないと思うのです。かつて芥川龍之介が海軍機関学校の教官であつた時に『元来のびる髪を短く刈り込むことはその方がかえつて不自然である』と、当事の軍人を皮肉つた言葉を、私もこゝで借りねばならないような気がします。それから氏の指摘している衛生と仕事の能率の問題については『長髪だと仕事の能率が低下する』というような人間がいるならば、その類の人間は断髪でも能率は少しも上らないような人間でしかないと思います。また、経済問題にも、ふれておられますが他人の家の経済問題迄云々するのは行き過ぎであると思います。学校当局の力をかりねば自分の息子の長髪を阻止出来ないようなおやじは、（父親の資格が全くないと私は思います。

“高校生よ信ずる道を行け”

私の高校時代の友達に『長髪にしたいが先生に嫌われるから』というのが沢山いた。みんな自分の信ずる道を行こうとしない偽善者だつたあわれな人間だつた。女子のパーマは非常に能率的だ。非の打ち所がない。だから、パーマをかけたがる女子学生にはかけさせてしかるべきだと思う。それが善だと思う。長髪、パーマの禁止は制服の着用と共に個性の自由性の喪失に至らしめるものと思う。

世の高校生よ、長髪にしたいものは長髪にせよ。断髪を良しと思うものは断髪にせよ。女子高校生よパーマをかけることが善と思うものはパーマをかけよ。おさげを愛する者はおさげにせよ。自分の信ずる道をあくまでつき進む勇気を持つて正義を求めよ。

この一文に對し御感想を募集します

〈口合戦〉世代のズレ

モウロク御免

三十代　常磐炭鉱労務係　**齋藤實氏**

四十才までの顔は父ちやんと母ちやんの責任だというが四十過ぎての顔は自分の責任だそうだ。わたくし達の顔は四十過ぎるまでの自分の生活とその態度がこしらえあげるものなのだそうだ。そう思つて五十代の方々の顔をみるとあゝこの顔が自分でこしらえあげたものかとひとつひとつ思いあたるものがある

まず第一に生活苦の陰がある。そして鍛えあげた欲望という名の何ともいえないイヤらしさをその目に感ずる、シワがよりきたなく衰え、シミのできた皮膚である、そこには豊かなものに包まれた知性の鋭さも理解力もなく、因業で我利我利で他人が銭があるのをうらやみ、自分のことは棚にあげて他人をこきおろす、何より自分の体験をもつたいぶつて誇り若い連中はそういうけれど世の中はそうはゆかないものだなどとうそぶく、卑屈なまでに長いものにまかれ、バツをつくつてその中でよい子になろうとしたり、他人を蹴飛ばしてもボスになりたがつたりテレンテクダを巧妙に使つておれは政治力があるなどとウヌボレる、若い女の子とみればそばへよつて誰かれの見境いもなく話しかけスキがあつたらなどと思わざるを得ないそんな顔ばかりにお目にかゝる、熟した顔になつてもらいたい、しなびたモーロクした顔はごめんだ、天にツバキをハクようなこんなことをいうのは戦争に行つて敗けて帰つた三十男の目は五十代の方々の顔をみてその看板通りにしかみていないし、受取つてもいないからあえて申上げる次第である

デカタンだ

四十代　磐炭労委員長　**大河原一次**

パチンコ、競輪などに浮き身をやつしているのをみて痛感するのだが今の青年たちは無意識からくるデカタン的傾向が強い

射倖的というか極めて打算的になつてきている、労働組合活動において大事な存在となつている青年層が夢と気力にかけ信念のないのにはビツクリしているせんじつめて考えると正義感すなわち正しいものを守る力にかけ[illegible]るから勇気がなく、自分の小さな利益を守ろうと自己保存に熱心するため打算的になるという三段論法が生れてくる、ダダイズムという思想があるが多くは主体性のない場当り的なもので生活への真理をつかもうとする純ずいさがない、これも政治の貧困によるもので七年間の占領政策が大きく影響しているワケだ

この原稿募集します

三万五千圓の團体旅行

十月十五日から二週間

水戸鉄道局、交通公社平案内所共催の九州、瀬戸内海、四国廻遊の長期豪華観光旅行は秋のシーズンをねらい十月十五日から十四日間の日程で実施することになり次の要領で会員を募集している。募集会員は五十名、費用一人三万五千円（汽車、汽船、バス、宿泊料、食事記念写真、アルバムの一切を含む）十月十五日平発（七時十一分）－（急行北斗）－上野－東京－（急行げんかい）－博多（車中宿）▼十六日 博多観光バス－武蔵温泉（泊）▼十七日 温泉－博多－長崎（泊）▼十八日 長崎－（バス）－雲仙温泉（泊）▼十九日 雲仙－（バス）－島原－（船）－三角－熊本（泊）▼二十日 熊本－（バス）－阿蘇登山－（バス）熊本（泊）▼二十一日 熊本－鹿児島（泊）▼二十二日 桜島観光（バス、船）鹿児島－バス－霧島温泉（泊）▼二十三日温泉－（バス）－霧島神宮－宮崎（バスで市内青島、鵜戸神宮観光）宮崎（泊）▼二十四日 宮崎－別府温泉（泊）▼二十五日 耶馬溪観光（バス）別府－（関西汽船）－高松（船中泊）▼二十六日高松、屋島琴平観光（高松泊）▼二十七日高松－（関西汽船）－大阪－（急行せと）－東京（車中泊）▼二十八日 東京－上野－平

素描

蓬來信勇

本郷西片の農学部よりの一帯はそのころの帝大学生の下宿屋街であつた。そこに長英館という下宿屋があつて、武田麟太郎、秋田實、藤沢桓夫など文学青年のたまりのようになつていた。蓬来信勇もその長英館グループの一人だつた

彼は真鍋物療内科の秀才として在学中から助教授候補にあげられていたが、そのキリスト教的思想は当時一般人からは白眼視される傾向のあつたセツツルメントに働かせた。

大学卒業後、支那事変ぼつぱつと前後して応召、終戦まで軍医として南船北馬ガ島のはてまでその足跡をのこした。

引揚後、開[illegible]て学位をとり今日に至つているが、いわゆる街の開業医としての考慮をほとんど忘れているかのような奉仕的診療の明け暮れは亡くなつた大森氏をほうふつとさせるものがある。

蓬來信勇氏

利害を無視した彼の献身的診療によつて救われた人々、救われつゝある人々は数かぎりなくこの感謝の結晶はやがて彼を大きな存在とするための足場となるかも知れぬが野心のない彼にとつて、実利的にこれは全く無意味なものにちがいない。

したがつて彼の道は永遠に孤の道となるかも知れぬが、これは好きや見栄で出来るものでなく、おのずからその人柄に備わつたものであろう。

彼はさいきん居子会なる文化グループを結成、その仕事の手はじめに夏季講座を催しこの土地では異例の成功をおさめた。この成功は決して偶然ではなくこのような催しの主宰者としてもつともその本領の発揮できる人だつたからであろう。

政治好きの文化人、金もうけの文化人、酔つぱらい文化人などいろくあるなかで、文化という名にもつともふさわしい人をえらぶとすれば、まず第一に彼の名をあげねばなるまい。彼こそ筋金入りの文化人であり文化という音楽の本質的なものを生活の上で、職業の上で、いささかの無理もなく自然に活かしている－決して弱くない、いや彼の場合、それが現代への、現実へのレジスタンスにまで高められているのだ（医学博士）

カマキリ

大井川思白

カマキリの鳳わらに似て翔べるかな
カマキリの野狐に似て振り向きし
カマキリを視て似し性の人を憶ふ
をのれ墜ちてカマキリいはり無く怒り
カマキリの▽の顔ピカソ展
カマキリのカマキリを喰む性かなし
カマキリのくはれ盡して交終る
カマキリの線眼死後の天宿る

商店だより

内田やのカステーラ

植田町本町通りの内田屋菓子店の特製カステーラと金ツバ焼きは殊の外甘党に歓迎されている

雑貨と西瓜

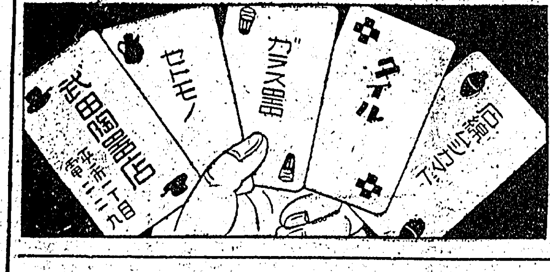
植田本町通りの大塚屋と山喜屋商店では雑貨と罐詰類の外出盛りの西瓜と水蜜桃林ゴの特売中

田村やの一割引

植田本町通りの田村屋呉服店では諸品を一割引きで顧客吸収

ウロコヨの報恩券

平市四丁目ウロコヨは報恩サービスとして一〇〇円お買上げ毎に報恩券一枚進呈、三枚シャンプ一個、六枚化粧石鹸一コ、二十枚タオル一本、七〇枚ランプ一コ、二〇〇枚電気アイロン一台等を無料進呈八月末日迄続行


武田陶器店
平 三丁目
電三二九
セトモノ
ガラス器
タイル

大谷石 木炭 五丁目 電六六 井上

盛夏の生地洋服
婦人服 洋品 革カバン 其他
鈴木勘氏商店
一丁目電1638　平和通電732

銘菓 六段最中
平駅前 電五〇九
平凡

お中元用品は
皆様の利益を護る店
大黒屋へ
（夜間営業9時迄）
平本店 平支店 大丸店
全坂店 湯本店 小名浜店

御中元御贈答品に三幸の食品

家具佛具特賣中
御佛壇　御位牌　佛具一式
夏の家具　事務用家具　家庭用家具
在庫豊富
◇御位はいの戒名書入れ御注文は早目に御下命下さい
自家製造元の家具の専門店
平指定商のチケツト御利用下さい
家具 漆器 伊東家具店
営業所 平市新川町電四六四
製作工場 平市大町

暑中御伺
花柳登代藏

暑中御伺
鳴物 望月尤三郎

暑中御伺
清元 清元松之助

暑中御伺
常磐津 常磐津三喜藏

暑中御伺
長唄 杵屋十茂代

暑中御伺
小唄 花菱はま豊

お役人さま大暴れ
殴られた随行雲隠れ

都市復興計画の実態調査に来平した建設省の役人が地元役所のごちそう酒に酔つてあばれ案内係として随行した県土木課員を殴りつけ悪口をたゝいたため殴られた土木課員は『あんな男は顔を見るのもいやだ』とつぎの調査地小名浜町への随行をやめていなくなつてしまつたという不詳事件がある－

酔虎伝の主は建設省都市計画課事務官吉田公一氏(三五)で十三日県土木課熊谷技師(三六)の案内で郡山市から来平したもので同日平市の防火帯設定について実態調査し同夜平駅前某旅館で地元某関係事務所のごちそう酒を飲んで暴れ郡山での待遇云々で熊谷事務官に食つてかゝり顔面を平手で三回ほど殴りつけ同僚の伊藤技官に制止されてやつとおさまつたもので殴られた熊谷技師は『本省の役人を笠にきて意張りちらし暴力を振るうような男の顔を見るのはいやだ』と招待側の某所長にこぼし十四日朝早く浴衣がけで旅館をとび出してしまつたもので、あわてた某関係事務所では所員を案内係に仕立てて十四日午前十時ごろ小名浜町へ出発させた

この問題について某所長は『吉田氏は大学を出たばかりで本省勤めをした若い役人で出張の先々でごちそう酒に酔つて意張りちらすというはなしだ』とこぼしている、なお吉田事務官は若松市でも同じようにして地元の役人を手こずらせており酒くせの悪い役人だというはなしである

小名浜 また二萬貫水揚

十三日夜から十四日朝にかけ小名浜魚市場ではカツオ、マグロなど約二万貫が水揚げされ賑わつたこれは静岡県清水港旋網船盛栄丸（二〇トン）地元船など五カ統が茨城県那珂湊三十マイル沖合でとつたものでカツオ七千貫（貫当り四百二十円から二百四十円）キワダマグロ四千貫（七百五十円から五百五十円）バチマグロ六千貫（八百円から四百五十円）キジマグロ三千貫（四百十五円から四百十円）で東京市場へ鮮魚で出荷された

居眠り運転 電柱へ

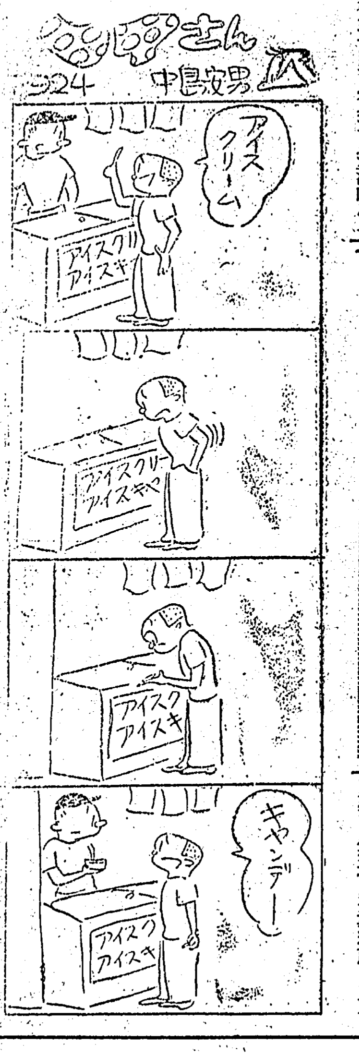
十三日午前六時半ごろ四倉町仲田地内国道で川部村小川佐藤製材所のトラック＝運転手清水栄二(二二)＝が木戸村へ行く途中ハンドルを切りそこね警察用電柱に正面衝突し同電柱をへし折り車の前部をこわしたが乗員は無事だつた、居眠り運転したもの

ときどき俄雨
七夕の天氣豫報

七夕の空模様を小名浜測候所に聞いてみるとあまりかんばしくない天気だという

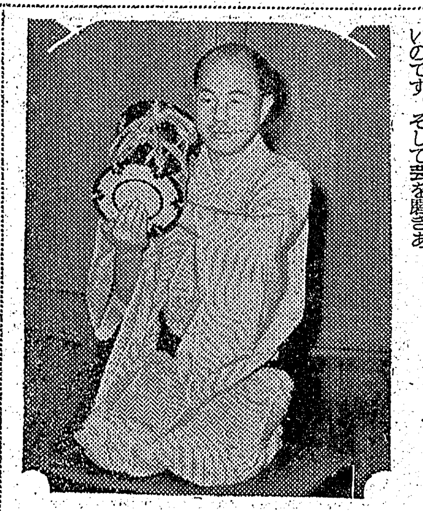
十五日の晩は曇り時々俄か雨、十六、七の両日は曇りでうす日がさすこともあるが時々強い俄雨に見舞われるとみている

平二中同窓會　平二中同窓会第五回定期総会は来る十六日午後二時から同校作法室で開く会費三十円で余興などが沢山ある


324
中島安男
アイスクリーム
アイスクリ
アイスキャ
アイスクリー
アイスキャ
アイスク
アイスキ
キャンデー
アイスク
アイスキ

わが師を語る ①
望月左三郎師
望月左千代（夢路）

変つているという言葉でお師匠さんをもつともよく現わせるのではないでしょうか。もう芸、芸、芸でお会いしたらおいとまするまで芸の話より他にないのです。そして芸を磨きあげるための人間修業、まるで修身の先生のように厳格なのです。お師匠さんを知つてから、芸はともかく、何か心のなかにシヤンとした心棒が一本通つたような感じです。永久にわたしの心の鏡である望月左三郎師匠です（写真左は望月氏）



妬き餅喧嘩で負傷

小名浜町小屋の内漁夫岡部昭(二五)は十四日午前一時ごろ同町船引場カフエー喜代美亭にあばれこみ女給小宝栄子さん(二二)にガラスの破片で切りつけ顔面に二週間の傷を負わせ現行犯で小名浜地区署へ捕まつた、調べでは岡部が小宝さんとねんごろ関係で行くは結婚するんだと話しがあり現金を相当つぎこんでいたが最近になつて心変りしたのを妬きこの暴行に及んだもので仲介に入つた喜代美の店主立花美代治さん(四〇)はなげつけられたガラス破片にあたり足に全治一週間の傷を負い、被害者の小宝さんは同町本町石井医院に入院加療中

娘さん轢かる

十三日午後一時五十分ごろ平市一丁目地内国道で平市紺屋町織田材木店女中岩原光子さん(一七)東北地方建設局磐城国道事務所トラック＝運転手小名浜町古湊磐村盛毅さん(四八)＝にひかれ右足首に二カ月の重傷を負い市内竹林病院にかつぎ込まれた

自由労務者に一割引

内郷町商工会では『お買物は当町で』という標語で十二日県と町から夏期手当（計一九二〇円）をもらつた自由労務者千名に対し一人六百円の商品切手を発行し十三日から正札の一割引き販売を開始した

今晩のラジオ 14日

七・三〇　僕と私のカレンダー
八・〇〇　演芸独演会　講談『真景累ケ淵の中豊志賀の狂死』小金井芦洲
八・四五　俗曲『江戸端唄』岸上みき子ほか
九・一五　放送劇『雨夜』宇野重吉ほか
一〇・一五　黄金のいす『竹岡信幸ショー』
第二　一七・〇〇　夕べの音楽

なはな

○…平市役所の女吏員たちはこんどおそろいの事務用上着をつくつた、薄クリ色のトテも上品な半ソデもの、発起人が希望をとつてつくらせたというが一枚ザツト五百円、勿論自ベン

○…これをみた丹野組合長－市の吏員には制服が必要だ、二百万円もあればできるんだが、助役や収入役に話したら気がついた時でもせにやなかなかできないからよかろうといつた、福島郡山でも制服はあるし消防団員や、警察官も制服があるんだから－とイヤにまじめに制服セイテイ論を飛ばしていた

○…さてさて市民のサイフから吏員の制服まで作つてやらねばならんほど市財政がユタかゞどうか、この暑さで委員長も相当のぼせてきたと専らのうわさ

お座敷美人女中三名募集
▼住込▼年令18才－30才▼支度金はご相談に応じます
▼委細面談
湯本町三函　中華料理　北京亭

[illegible]

新入荷
万
格安販売（多少に拘らず）
優良ラワン平割　盤物（巾広品）
秋田杉板平割　尾州檜平
ベニヤ板各種　床柱　天井板
織田銘木商店
平市紺屋町　電四六〇

謝恩温泉御招待
連合中元大賣出し
（八月十五日から二十二日まで）
お買上金弐百円毎に抽籤券一枚進呈
一等　当選五十名様　飯坂温泉一泊御招待
（招待日　八月二十八日朝六時出発）
植田－竹駒稲荷、塩釜神社、松島巡り仙台－飯坂温泉一泊、裏磐梯を経て植田へ（旧六日七日八日七夕祭）
主催　植田町商工會

常珖院の新盆にあたりますが時節柄提灯お供物等は一切御辭退いたします
平市正月町一九
大内弘

東京仕入部の努力に依り毎日格安品入荷致しております
15(土) 16(日)　祝 七夕祭・平安橋開通記念 土・日奉仕
當日全店に亘つて土・日奉仕品を發表させて頂きます
東京本染
ゆかたと上布…均一奉仕
夏のプリント服地…奉仕大會
夏の婦人・子供服｛新安値奉仕
メリヤス肌着
クレープ肌着｝奉仕品提供
Yシヤツ開襟シヤツ…總陳列
晴雨兼用傘…總陳列
おふとんの手入時
夜具地綿反 奉仕の市
海水着見切市 平支店のみ
舊盆のお買物は是非大黒屋連鎖店へ
お盆の御贈答用適品が豊富に取揃えてあります
全店共通の商品券を御利用下さい
皆様の利益を護る店
大黒屋
小名濱店　湯本店　宮坂店　平大丸店　平支店　平本店
東京仕入部　東京日本橋久松町四
平支店に於きましては夜間だけ袋物類の大見切市を開催中です

ハラハラしながら七夕を待つ
七夕が近づくと飾りつけの心配で頭痛鉢巻。一体どこのどいつがこんなものを発明したんだと恨みたくもなります今年の藤越の趣向何卒ご笑覧下さい
☆平安橋開通記念大売り出しを盛大に挙行しています。福引のほか値引品も豊富
店員募集
越
小名浜　平市
藤越

全店
中元福引大賣出し
8月21日まで
お買上げ百圓毎に福引券一枚差上げます
夜間營業 九時まで
三幸
TEL 506 1327

放射線科新設
内科小兒科　高久医院
平市駅前　電五一三
（入院応需）
高久一郎

涼しい　料亭　[illegible]
公園内　電二二六
◇求む　女中さん　十八才－三十才委細面談

平二中同窓會定期總會開催

平二中同窓会第五回定期総会を左記により開催いたします炎暑の折御迷惑に存じますが同窓生各位多数の御出席をお待ちいたします
▽期日　八月十六日（日）午後二時から
▽会場　平二中作法室
▽会費　三十円▽余興あります
昭和二十八年八月十四日
平二中同窓会会長　加沢慎

わたしのふるさと

生粋の下町ッ子

勝呂もと子

私は生粋の江戸ツ子ですからふるさとは東京以外にはありませんし生れたのが日本橋新川町といつて京橋と深川のあいだ…こゝは三階ビルが立ち並び大小の酒問屋が多数あつて酒好きの父には絶好の住家だつたようです、歩いて三十分で日本橋、柳の銀座など繁華街があり、また隅田川の下流、東京湾の港にも近いので夕食後は銀座八丁をよく散歩したり大島往復の汽船の船上とサンバシをテープでむすんで別れをおしむ光景など毎日みては喜んでいたものです、私もいちどこの埠頭で〃ほたるの光〃の音楽に送られたこともあります

夏祭では深川八幡祭が今月の十五、六日で各町内のオミコシが百合も勢揃い、ハツピ、しぼりのゆかた、白足袋の芸妓さんが手古舞姿で木やり唄をのんびりと唄い町から町をねり歩き賑やかです、よく田舎の人が死ぬまでに一度は見たいという祭りだそうですね、また呼物の両国の川開き花火大会は家の二階のベランダでゴザを敷き母と一緒にうちわをつかつて眺めました、枝豆の塩ゆでなどを食べながらパツと空に咲く花火をみて『玉屋』『かぎや』と大声をはり上げて楽しんだものです、このふるさとも廿五年住んでいましたが大正十二年の関東大震災で焼けだされまた第二次大戦の二十年三月十日の空襲で家はまた灰になりました　東京ッ子には一番なつかしいのが〃銀座〃です銀座の四季は東京ッ子の四季です、娘の頃はお茶の水のY・M・C・A（日本青年キリスト教協会）に通学していたので気の張つた新デザインの服を着て銀ブラをしたものです、また日本橋京橋の寿司は有名ですので私も小さいときから食べていたためか大好物の一つで毎日軒なみに食べまわつたこともあります

（平郵便局長夫人）

かけこみ犬、猫で大繁昌

湯本衛生係の机の下へ

○…窮鳥ふところに入るではないが野犬狩りで大童になつている湯本町役場衛生課の机の下に最近犬、猫のかけこみが多く吏員たちをおどろかせている、一日から既に六匹を数う

○…十二日午後二時ごろには可愛い無鑑札の白犬が迷いこみ衛生係嬢の脚の下で午睡としやれこみいびきをかいていい気持、吏員たちは殺すのもむごいとばかり思案顔で誰か身元引受人はないかとこぼしている

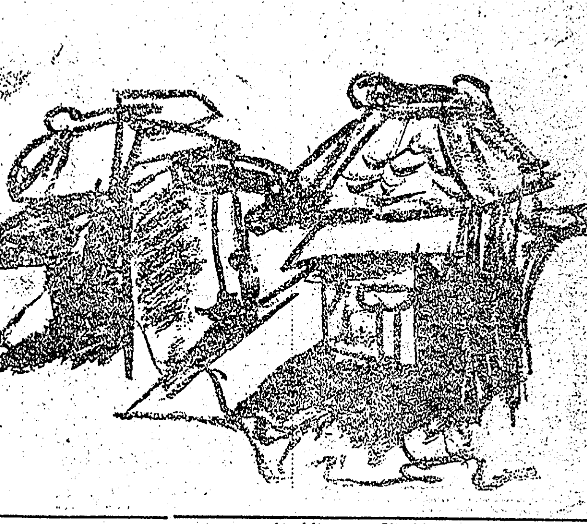
ちよッと一言

白銀の悪道路

平市内の道路は大分よくなつたがまだまだ悪いところがあるようだ、特に白銀道路（平駅―保線区）の道路はいつまでたつても良くならないのには困つている、雨の日には泥んこになつて靴やズボンをよごすことがおびただしい市当局の考えを回答して下さい（仲間町、学生）

回答

二十八年度予算で今年中に県道の舗装工事をすることになつており近く土木委員会をひらいて工事計画や予算を審議することになつている、なお人道の方も地元からの協力があれば舗装する考えだ、遅くても明春三月までには完成の予定だからあと少ししんぼうして欲しい（市土木課）



さんまの出るころ

絵と文　草野ゆき

カツオにアブラがのつてきた。火山をかけてニンニクで食うとうまいのは知つているが家族五人の安サラリーマンには手がとどかない早くサンマがとれてくれればいいし、このごろはサンマの値だんもバカにならぬ。うんととれて東京に出しきれなくなつた奴を買うほかないが、そうなると隣りもお向いもまたその隣りもサンマ、サンマで匂いだけでゲンナリしてしまう、何しろ消防がボヤとまちがえるほど煙がのぼるのだから。

諏訪靴店の特賣

植田町台町の諏訪靴店では婦女子と青壮年向きの純白靴を特売中

二葉のライト特賣

植田町二葉文具店で発売中のライトインク廉価で品質もよく好評

植田の田舎まんじゆう

植田町松屋旅館前の松田屋菓子店の田舎まんじゆうとカステラは他の追縦を許さぬ甘味で売れるわく

赤津肉やのハム

植田町本町通りの赤津肉店では生きのよい桜肉とハムを売り出し中

寶やの新柄單衣

植田の宝屋呉服店では新柄単衣物売り出し中

[illegible]

策戦
米軍が来なければ戦さにならん
―地区共斗会議

茸狩
アラいやだ、こんな大きいの
―箱入ムスメ

七夕祭
金などつるすもおもしろいであろう
―審査員

宣傳
うまいもの期間中五円サービスします
―食堂

うまいもの投票

締切繰上につき急告

うまいもの投票は読者各位の御協力で盛況ですが、紙面の都合上、勝手ながら締切日を次のように繰上げますから御諒承願います

一、締切　八月二十日
同日の消印あるもの有効

一、最後發表　八月二十五日付

最後の発表は二十五日付本紙（二十四日配達）に発表しますなお、前にも申し上げました通りこの投票は読者各位の食道楽の便宜に供するための催しで投票数の多少が品物の価値を決定するものでないことは常識でおわかりと存じますので、あまり無意味な競争をされぬよう願います

みしま、魚榮進む

老舗次第に盛返す

三五〇	平凡（平）	六段最中
三三一	マルトモ（平）	喫茶クリーム
二六〇	奈加や（平）	支那ソバ
二一〇	日東物産（小名）	みりん干
一六一	友楽軒（平）	カレー
一五三	みしま（平）	寿司
一二六	みよし（平）	じゃんがら
一二二	魚栄（平）	蒲焼
一〇五	月廼家（平）	天ぷら
九一	蛇の目（平）	寿司
九一	金平（植田）	ざるそば
九一	江戸川支店（平）	柳川
九〇	北京（湯本）	とり丸焼
八七	酒蕎庵（平）	モリ、カケ
八三	松本楼（平）	蒲焼
八一	味郷（平）	シユウマイ
七一	湖月（平）	トンカツ
六八	平凡喫茶（平）	クリーム
六三	一の井（平）	カツ丼
六一	松の寿し（平）	すし
六一	たいら食堂（平）	カレー
六一	たまはん（平）	サンドワイッチ
六一	サロン（平）	カレー
五九	菊水（湯本）	すし
五八	太田や（平）	寿司
五八	福寿軒（平）	コキユール
五一	江戸川本店（平）	寿司
五一	金沢屋（平）	桃の井
四八	玉半（平）	ザルソバ
四八	金時（小名）	蒲焼
三五	鳥庄（平）	なべやき
三五	一平（平）	おでん
二七	茂登女（平）	ハヤシライス
二三	憩（平）	支那そば
二三	ブラジル（平）	カツ丼
二二	七福（平）	支那そば
二一	メイ（平）	カレー
二〇	菊よし（平）	野菜料理
一八	松月堂（平）	平ようかん
一八	いずみや（平）	からつ風
一八	豊松（平）	コロツケ
一五	安兵衛（植田）	寿司
一三	滝田（平）	甘納豆
九	不二屋（平）	ソフト

投票規定

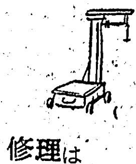
一、官製ハガキに一枚
一店一品
一、締切は八月廿日

今日の映畫

☆平館（新装開館十八日まで）
弁天横丁　名探偵アジャーパー氏
☆民劇（十八日まで）
残俠の港　幌の谷
☆聚楽館（十九日まで）
ナイヤガラ　花嫁の父
☆ひかり座（十八日まで）
都会の横顔　女王戴冠
☆世界館（十八日まで）
モンテンルパ望郷の歌　河童大将

カメラは田中

ピアノ
オルガン
高野文化堂
平市三丁目30米通路
電話１０６４番



修理は
大森工業所
平かじ町
電話1468

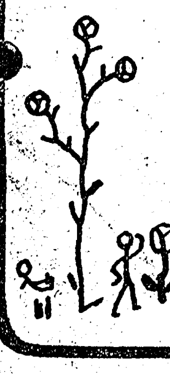
塗料
建築　機械　自動車　家具
船舶各種塗料　顔料
其の他
塗料用機械器具一式
★新入荷　カシユー　ビニコート
艶出しワツクス
ユリツクス
株式会社　ダイヤ塗料商會
平市南町６７平和通り
電話（平）１３５１番

いわき名物　銘菓
常磐
黒ダイヤ
最中と羊羹
平市田町
電936
市川パン店

かっぽう
開花

CROSS STAR　世界の家庭に輝く！
クロスターミシン
平市五丁目二（金屋西隣り）
磐城ミシン工業所電１３５４

御菓子司　松月堂
平市銀座街
電話二〇六

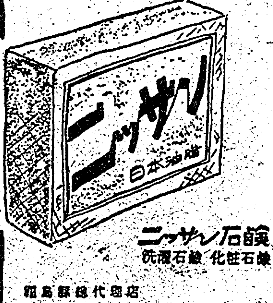


経
笑って殖せる----
千代田の投資
毎月５分配當
▲御投資１萬圓以上▲期間３ヵ月以上
千代田經濟株式會社
本社・東京　外国支店・シカゴ市　ニユーヨーク市
県内
平営業所・新川町　１１・ＴＥＬ1288
郡山営業所・盆前町　７１・〃　2207
若松営業所・七日町２の８・〃　328

青寫眞
藤森

月拂で家が建つ
建築の福音！
家が月掛で抽籤も入札も無く早く申込めば早く建つ東北一の月賦建築、住宅は基より店舗、工場、増築、改装、修理の大小に拘らず御利用下さい、詳細は御来社願います
御結婚にぜひ月払証券御持参で！
募集
外務社員
本人履歴書
持参下さい
（建設大臣登録ろ第962号）
日本建物株式會社
平營業所
所長　大樂弘
平市大町三
電話五八〇

外科
胃腸科
泌尿器科
性病科
平市南町（公会堂通）
眞木醫院
電話一一九五番



生地がイタマズ
泡立よくてよく落ちる！
ニッサン石鹸
洗濯石鹸　化粧石鹸
福島県総代理店
株式会社佐藤商店平支店
平市五丁目17（電378）